

市政を問う!

15 議員が登壇 (一般質問)

安心安全防災対策等について



森 元 秀 一

森元 7・12災害を踏まえ、「特別警報」の施行をどのように活かされるか。

高木総務課長 市としましても昨年の災害を踏まえ、危機感を持ってやっています。最も重要なことは、正しい情報を如何に早く正確に全ての市民の方々に伝えるかであり、方法としては、従来通り防災行政無線、お知らせ端末であります。また、携帯の安心安全メール、そしてエリアメール等、全ての情報伝達手段を通じて、サイレン放送とともに周知を図っていきます。来年4月以降は、この「特別警報」が発せられた場合には、防災無線によるJ-ALERTの瞬時放送が可能になるようになっていきます。

森元 しっかりと周知徹底をしていただき、迅速に安全に市民が避難できるように願います。次に坂梨災害跡地に「命の森を」緑の防災モデルにしていこうという市民の声があ

る。現在、日本中で過去に起きたことのない災害が発生しており、阿蘇のこの場所がモデルとなって、災害を風化させることのない街づくりをお願いしたいと思っているが、今後の市としての考えは。

総務課長 坂梨地区の国道57号線・福岡地区は、県の方で公園化の計画が進められております。公園化を行ったうえで、環境、景観保全、観光資源の開発、地域の憩いの場としての活用、更には今回の災害を風化させることなく、防災意識を高めるための公園として、また、非常時には災害を最小限に食い止めるような構造となるように、県との協議を進めていきたいと考えています。

他に、「『要援護者』避難支援の取り組みについて」、「避難所における生活環境整備について」、「『いじめ対策推進法』制定を受けて」、「観光振興推進について」の質問があります。



福岡地区の災害現場

県道内牧坂梨線の道路拡張について



湯浅 正 司

湯浅 県道内牧坂梨線の小倉、山田間の道路拡張に市も積極的に県への要請を。

伊藤土木部長

この区間については小倉の東から山田まで約600メートルあり未改修ということですが、毎年、市町村会の方で、市長からも強く要望していただき、建設課の方からも、振興局の土木部の方に毎年要望活動を行っております。九州北部豪雨により内牧坂梨線は手野地区及び三野地区のバイパス化が緊急の対策として計画されています。この小倉、山田間も避難道路としての意味合いはあると思っています。引き続き、要望を続けていきたいと思っています。

湯浅

県の災害復旧復興予算は200億円くらいと聞いているが、総予算又は現在の状況はどうなのか。

土木部長

黒川激特事業は当初183億円、それに黒川改修の別の交付金を利用し24億円、合計で207

億円で黒川改修事業の総予算ということです。その内訳は堆積土砂撤去に約4億円、遊水地が二ヶ所で131億円、輪中堤・宅地嵩上げで48億円、内牧の河道改修・護岸整備で24億円、合計の207億円です。小倉の遊水地は、中小河川整備計画という事業で現在まで10億円が使われています。激特事業は5年間で完成される予定のようです。小倉が約84億円、手野は47億円と聞いています。河川の掘削については、上流は古恵川までは6月に竣工したという事です。下流域は内牧地区から古恵川までの約10kmは本年度に完成予定という事です。内牧から下流域の乙姫川から無田遊水地までは、契約を10月下旬の予定と聞いております。

他に「水力、風力、メガソーラー（発電）」に対しての九州電力の阿蘇地区の対応について、「農村公園あびかのタータントラック修理等の計画は」等の質問がありました。



県道内牧坂梨線の小倉・山田間

安心安全な生活環境づくりについて



田中 則 次

田中 再々の質問になるが、宮地小学校大半の生徒が通学する市道小堀線、東岳川橋歩道橋及び前後の歩道設置計画の進捗状況は。

井建設課長

平成23年度に計画した橋梁長寿命化計画に基づき、本年度中に改修予定です。

田中

橋から大阿蘇病院までの間は。

建設課長

橋から27mについては、歩道を同時に設置、その先は筆界未定地につき交渉を急いで、早めに舗装が出来るように取り組んで参ります。

田中

特に雨天時は危険である。

また、筆界未定地は以前からの懸案事項であり、早期解決を願う。また、災害発生以来、市は災害に強い郷土造り（復興）を目指して来た。復旧は進んでいるが復興という意味では未だにほど遠い。一つに地域の人々

の強い思いがある県道内牧坂梨線バイパスは、着工されてないという現実がある。この件について、県への要望・交渉の進捗状況は。

建設課長

各地区において今回整備が出来なければという危機感もあります。用地をはじめ、地元のご協力を願い、官民一体となって県への要望活動に努めたいと思っております。

田中

思いは一つで、災害時の避難路、また古城地区の生活基盤の整備です。地域とのコンセンサスを十分に行い、住民の不安がないよう努めてもらいたいが。

建設課長

道路期成会を立ち上げ、県との協議、要望をさらに進めます。

他に、「集合住宅の設置の考えは」、「老朽化公営住宅跡地利用について」の質問がありました。



改修予定の小堀線、東岳川橋

児童・生徒の通学・下校時の安全性は



田中 弘子

にとって、女性農業者の視点を活かした役割は、必要不可欠な存在となっており、議会の方から4名の推薦枠もありますので、推薦委員につきましては、出来る限り女性の登用をお願いできればと思っています。

成川転倒自動堰について

田中 転倒自動堰の交換については、どう考えているか。

本山農政課長

黒戸川河川にある農業用の取水堰の事です、本年度の改修工事に伴い下流域の住宅への冠水等の心配があることから、安心・安全のために市も中に入って調整をしながら用水組合と下流域の方々が納得されたうえで、覚書を交わす所があれば、それにも携わっていきたいと思っています。

体罰について

田中 部活の指導の現状は、基本的には児童・生徒の指導は、いかなる場合も体罰は行っていないと校長会で指導しています。



児童の登校風景

旧ひのくに会館と旧コアラ跡の今後は



園田 浩文

園田 旧ひのくに会館は、東日本大震災の被災者、被災企業の救済を目的に、公立学校共済組合より三千万円で市が購入されたが、募集状況は。

高木総務課長

25年3月末現在、具体的な応募はあっておりません。

園田 募集方法は。

総務課長 全国市長会ホームページ等を通じて、受け入れ企業等の募集を行いました。

園田 昨年の豪雨災害後の建物内の状況は。

園田内牧支所長

1階ロビーを中心に15cm〜20cm程度の泥が堆積している状況です。

園田 取得された時の取り決めで、5年間の目的外使用は出来ないようだが、解除の方向で共済組合と協議は出来ないか。

和田総務部長

今のところ、救済施設以外で検討は行っていない。

園田

今後の市長の考えは。

佐藤市長 地域の活性化と阿蘇市のためになるように活用出来ればと思っています。

園田 旧コアラの現状は。

吉良観光まちづくり課長 この物件は、金融機関からの競売の申し立てがあつておりました。過去に地元の方でも動きがありました。土地と建物の所有者の違いや取得の金額等が問題になり、中止になっているようです。

園田 旧コアラについては、大変

難しい問題を抱えているとは思いますが、商店街の中には年間十万人もの方々が足を運ばれている食堂もある。先をしっかりと見据えた手は打てないか。

観光まちづくり課長

せっかくのチャンスであり、波及効果も充分あつていと思います。今後も商店街の方々の連携でやられるべきだと考えます。

園田 市長の考えは。

佐藤市長 民間の資本を扱うことには、慎重を期したいと思っています。

他に、「内牧地区水害対策の今後の計画について」の質問がありました。

農業委員女性登用について

田中 他県で中学3年の女生徒が、花火見物後の帰宅途中に襲われ殺害されました。市としては対策、或いはどの様な指導をされているか。

日田教育課長

学校では、各地域の保護者と協議し、通学路を決定します。危険箇所・登校等を把握し（班長は5〜6年生）、毎日児童に注意、指導を行いながら登校している状況です。また、通学路の安全確保については、登下校時のボランティア協力員という事で市民の方に公募し、現在110名の方々に、早朝・夕方に1時間程度ご協力を頂いています。トラブルや事故に巻き込まれた時のために、保険関係も市の方で掛けています。

田中

7月2日付けで、農業委員会から議長宛に女性登用要望書が提出されたと言いましたが。

石寄農業委員会事務局長

農村

阿蘇いこいの村民営化について



大倉 幸也

大倉 民間移譲においての経過は、**渡邊審議員** 平成25年6月に募集開始、7月5日締め切り、3社の応募があり7月10日審査会、7月19日に(株)アグリスクエアに決定しております。

大倉 アグリスクエアの中山氏は新聞によると、「3年前から知っていた」と語っており、最初から中山氏ありきではなかったのか、更には今年の3月頃には「リニューアル後の完成図を見た」という話があるが、情報漏洩があったのでは。

審議員 その当時は、全然知り合いませんでした。また完成図についても、私は聞いておりません、初めて聞きました。

大倉 審査において、どういうところの評価が良かったのか。

審議員 プレゼンテーションの内容は、市の条例で不開示となっております。もし言えるとするならば、全般的な業務計画、実現性あたりが

評価されたものかと思います。

大倉 暴力行為等で昨年退職した調理員については。

審議員 中山さんをお願いして雇った経緯がございます。暴力行為は、お互い大人の対応で解決しております。他にも問題があり、やむなきと言う事で、1ヶ月分の給料上乘せで解雇という形をとっております。逆に中川支配人に不信感を抱いております。職員の意見をその都度しか言わなかったこと、予約で200万円の損害賠償を打たれていることです。

大倉 民営化後の職員の雇用、給料等の待遇は。

審議員 継続雇用です。給料は上がる人下る人が出るかと思えます。退職金については、制度を作った方がいいのではと話しております。



いこいの村

乙姫川の全面改修について



野田 好一

野田 乙姫川の全面改修についてお願いしたいと思えます。乙姫川は、熊本県が管理している川で、去年も今年も被害があつて、8m道路から下流は立派に改修してあるが、乙姫に向かった方は竹やぶで、県の方にお願いして改修して頂きたい。

井建設課長 河川の管理は、熊本県になっております。下流の部分が終わり次第、上流の部分に取り掛かっていただくよう、市から要望を出しているところでございます。

ご当地ナンバーについて

野田 阿蘇の名前の付く、ご当地ナンバーを申請したらどうだろうかと思うが、阿蘇郡内には何台くらい車があるのか。

山口税務課長 阿蘇郡市で、普通自動車3万570台、軽自動車3万

358台です。

野田 ご当地ナンバーについての市長の考えは。

佐藤市長 過去に国土交通省の方の自動車関係の方に行つて、直談判をした経緯がありました。が、「登録台数十万台」というのが基準であり、阿蘇郡市では、そこにはまだまだ至らないという事で断念した経緯があります。ご当地ナンバーは、阿蘇市の将来にも良い宣伝になると思いますが、引き続き私も注視してまいりたいと思っております。

他に、「耕作放棄田について」の質問がありました。



乙姫川8m道路から上流側